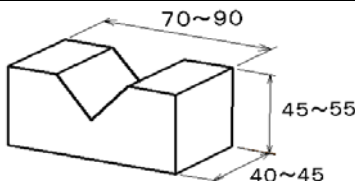


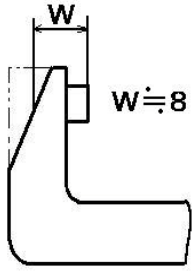
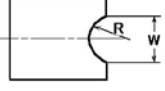
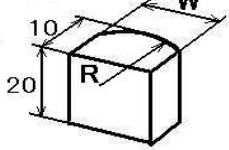
公 表

第49回技能五輪全国大会

『抜き型』職種 仕上げ加工用 持参工具等一覧表

区分	品 名	寸 法 及 び 規 格	数量	備 考
工	鉄工やすり	角形、平行、半丸形、丸形、三角形 荒目、中目、細目、油目	適宜	やすりは加工したものを使用して もよい
	組やすり	5本組、8本組、10本組、12本組	適宜	
	平行	13×17×45、25×50×100	2組	ダイ・パンチ間隔合わせ用各1
	けがき針		1	特殊な加工のないもの
	センタポンチ		1	
	コンパス		1	
	油砥石		適宜	かえり取り用、特殊な加工のない もの
	ハンマ	JIS呼び番号 1/2, 3/4, または 1 程度	1	
	木ハンマ		1	プラスチックまたは無反動ハンマ でも可
	横万力	口金の幅 125～160mm	1	* バイス上面より突き出し量は20 mm以下(安全面) * 形状は特殊なものでなく、既製品 の高さのみ延長した形状である こと。(一般的な六面体) * 取付けは、左側作業台は左、右側 作業台は右とし、ヤスリ作業時に足が 作業エリアから出ない位置とする
具	ボール盤用バイス	口径75～150mm、開口部120mm程度	1	会場備付けも使用可
	打抜きたがね		適宜	
	ハンドル	タップ用、リーマ用	各1	
	タップ	M6	3	
	リーマ	φ6 (H6用)	3	平行ピンに合うもの
	ドリル	φ13以下 (φ6.5を含むこと)	適宜	面取りカッターの使用可
	ハクソーフレーム		2	
	のこ刃		若干	加工してもよい
	六角棒スパナ	M6用	1	
	ブロック	6×9×60mm、13×17×60mm	各1	当てずり及び測定用当て金として 使用のこと
類	Vブロック		1	図示の寸法程度のもの
	V溝付枳形ブロック	1辺100～150mm程度	1	特殊な加工のないこと
	平行クランプ	開口部 0～60mm、0～100mm 程度	各1組	コの字形形状補助具使用可
	銅棒 (丸/角棒)	長さ100mm 以下、断面形状は丸または角	適宜	黄銅、木片、プラスチックでも可
	組合せ調整用木片		適宜	てこ用

公表

区分	品 名	寸 法 及 び 規 格	数量	備 考
工 具 類	ピン抜き棒	 $\phi 5.5 \times 60\text{mm}$	1	
	ワイヤーブラシ		1	
	スコヤ	大、小	各 1	特殊な加工のないもの
	圧入用叩き定盤 (台付き)	500×500×高さ900mm 以下	1	安全作業に支障をきたさないこと
測 定 具 類	ハイトゲージ	1／50目盛、150～300mm	1	テコ式ダイヤルゲージ可、デジタル式は不可
	マイクロメータ	1／100目盛 0～25mm，25～50mm 50～75mm，75～100mm 100～125mm (調整用ブロックゲージを用意すること)	各 1	デジタル式は不可、狭い場所でも測定できるようにフレームの先端を下図のように加工してもよい 
	デプスマイクロメータ	1／100目盛 0～25mm	1	
	ノギス	1／20目盛、150または200mm	1	デジタル目盛りも可
	スケール	150mm	1	
	テコ式ダイヤルゲージ	1／100目盛	2	但し、1個は予備用とする
	コンパレータスタンド		1	
	シクネステープ	0.01～0.1	適宜	材質任意、テープ保持具可
	特殊ゲージ	図に示す形状で R13及びR15用の2種類 W（幅が15mm以上） 	各 1	ゲージの板厚は、2～3mmであること
	R部測定子	図に示す形状で R13及びR15用の2種類 W（幅＝15±0.5mm） 	各 1	幅及び高さは図示以下であれば可
	Rゲージ	R0.75～R5	1組	
	定盤	300×300mm程度	2	
	測定用平行ピン	$\phi 8 \times 50\text{mm}$ ， $\phi 10 \times 50\text{mm}$ ， $\phi 6 \times 50\text{mm}$	各 1	

公表

区分	品 名	寸 法 及 び 規 格	数量	備 考
その他	平行ピン	φ 6 × 2 0 mm	3	両端面とり（ダウエルピン）
	六角穴付ボルト	M 6 × 2 5 mm	4	紛失の場合は、監督からの供給を認める、頭部面の研削加工可
	切削油	油さしまたはスプレー	若干	
区分	品 名	寸 法 及 び 規 格	数量	備 考
その他の	ビニールテープ		若干	
	保護めがね		2	
	はさみ		1	
	カッタナイフ		1	
	皮手袋		適宜	
	光明丹(鉛フリー)		若干	付属刷毛、代用品可
	バイス口金		若干	材質任意
	チョーク		若干	
	ウエス		若干	
	マジックインキ		若干	
	青ニススプレー		若干	
	鉛筆及び消しゴム		適宜	ボールペンでも可
	作業台清掃用刷毛		適宜	
	洗い油		若干	
	防錆油		若干	
	エアースプレー		若干	
	図面立て	A 3 （ 2 9 7 × 4 2 0 ） 用	2	バインダーも可
	手元照明		適宜	他の競技者に影響を及ぼさない程度のもの
	時計		2	ストップウォッチも可
	卓上計算機		1	プリンター付、プログラム付、及び電源を必要とするものは不可
	踏台またはマット	マットは脇置台から20 c mまではみ出し可	1	
	作業台	W1250以下× D 1000以下× H 750mm程度（天板厚み50～100mm）	1	*隣の作業台(天板)との間隔は50mmとする *引出し付きの場合は引出しを使用しないこと
	棚	高さ 3 0 0 mm以下で引出しのないものただし、透明なスライド式のもの可	適宜	作業台(1250×1000×750)からはみ出さないよう設置すること
	脇置台	3 0 0 × 4 0 0 高さ 9 5 0 mm以下	1	作業台の端にぴったり付けておくこと

(注)

1. 持参工具は本来の使用目的以外の用途に使用してはならない。
2. スコヤ、Vブロック、当てずりブロック等を比較測定に用いてはならない。
3. 環境や健康上問題のある脱脂剤(トリクレン、フロソ 他)及び潤滑剤は、使用しないこと。
4. 洗い油は競技会場には準備しない。
5. 安全衛生上の保護具等は、本一覧表に記載がなくても使用してよい。